



✳産業振興

たかはし ぶんきち
高橋 文吉 さん
(鍛冶町・87歳)

市内の資源リサイクル事業者などからなる岩手県再生資源商工組合の理事長として組合を取りまとめ、行政と連携し県内での先駆けとなる花巻方式ともいわれる資源集団回収の体制づくりに尽力するとともに、事業者側の受け入れ体制整備に努め、ごみ減量と資源のリサイクル推進に多大な貢献をしました。

また、花巻商工会議所副会頭など商工関係団体の要職を歴任し、本市の商工業振興の推進や地域経済の発展に尽力。さらには、永年にわたり花巻市奨学生選考委員会委員を務め、経済的困窮により修学が困難な学生のために多額の奨学資金を寄付するなど、市勢の発展と産業および教育の振興に寄与しました。



✳地方自治振興

ながい せんいち
(故)**永井 千一** さん
(桜台・享年64歳)

平成7年4月、花巻市議会議員として初当選以来、連続5期15年余りにわたり、議会活動を通じて市民福祉の向上に寄与。特に平成11年5月から平成13年6月まで建設常任委員会副委員長を、平成13年6月から平成15年4月まで議会運営委員会副委員長を務め、市議会内の連絡調整や円滑な議事運営に尽力しました。

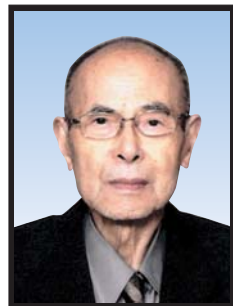
また、平成15年5月から平成17年6月まで副議長を務め、円滑な議会運営に尽力しました。さらには、岩手中部広域水道企業団議員を務めるとともに、花巻市都市計画審議会委員および花巻市都市施設管理公社理事や花巻地区広域土地開発公社理事などの要職を歴任。永年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与しました。



平成26年度の市勢功労者表彰式を11月3日、花巻温泉ホテル紅葉館で開催しました。市勢の発展に大きく貢献したことにより三つの部門で表彰された6人の皆さんは次のとおりです。



市勢功労者表彰 平成26年度



✳民生安定

みい こたろう
(故)**三井 小太郎** さん
(石鳥谷町中寺林・享年89歳)

里親、保護司、民生委員児童委員などを永きにわたり務め、社会福祉の向上に貢献しました。とりわけ、障がい者福祉については、昭和42年6月、自ら発起人となり社会福祉法人光林会を設立。以後、知的障がい児施設「ルンビニー学園」、知的障がい者更生施設「ルンビニー苑」を開設し、知的障がい者の支援体制の整備に生涯にわたり取り組みました。

また、平成19年11月には県内初となる障がい者アートの常設美術館「るんびに美術館」をオープンさせ、障がい者の創作活動の拠点とするなど、障がい者に幅広い活動の場を提供し、障がい者の社会的理解の促進に尽力。永年にわたり市勢の発展と市民福祉の向上に寄与しました。



✳産業振興

ごないかわ しんご
五内川 信吾 さん
(四日町・74歳)

平成15年に花巻信用金庫の理事長に就任後、平成16年に後継者育成の支援・地域活性化を目的に「花巻地域企業後継者塾」(後に「花巻 夢・企業家塾」に名称変更)を開講。企業交流会の開催や、同塾生・支援機関などとのビジネス展覧会への共同出展、市内高校・中学校でのキャリア教育支援など、継続的に地域密着型の地域経済活性化に取り組んでいます。

また、地域金融機関の理事長として、花巻商工会議所、社団法人花巻観光協会などさまざまな商工観光関係の団体の役員に就任するなど、永年にわたり地域経済の健全な発展と産業の振興に寄与しました。



✳地方自治振興

さいとう まさと
齋藤 政人 さん
(下似内・69歳)

平成3年4月、花巻市議会議員として初当選以来、連続7期23年余りにわたり、議会活動を通じて市民福祉の向上に寄与。特に総務常任委員会および議会運営委員会では委員長、産業経済常任委員会では副委員長を歴任。平成9年6月から平成21年6月までは花巻空港及び周辺地域整備促進対策特別委員会委員長として、花巻空港や流通業務団地など市の基盤整備促進に尽力しました。

また、花巻市総合開発審議会委員や花巻市都市計画審議会委員など多くの要職を歴任し、平成21年6月からは議会選出の花巻市監査委員として財務事務の執行を監査。永年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与しました。



✳地方自治振興

ふじわら よねみつ
藤原 米光 さん
(石鳥谷町大瀬川・72歳)

平成11年9月、石鳥谷町議会議員として初当選以来、連続5期15年にわたり、議会活動を通じて市民福祉の向上に寄与。特に平成15年9月から平成17年12月まで産業土木常任委員会副委員長を、平成20年8月から平成22年7月までは産業建設常任委員会委員長を、平成24年9月から平成26年7月までは、総務常任委員会副委員長を務め、市勢発展に努めました。

また、在任中は花巻地区消防事務組合議会議員、花巻地区広域行政組合議会議員、紫波、稗貫衛生処理組合議会議員を務め、特に平成19年5月から平成26年7月までは紫波、稗貫衛生処理組合議会副議長を務めるなど要職を歴任。永年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与しました。